

「なんと！やさしい子育て応援企業」基本項目調査票

南砺市教育委員会 こども課

- 子育て家庭の親(※1)の雇用や柔軟な勤務体系などに理解のある市内企業を調査し、要件にあった企業を「なんと！やさしい子育て応援企業」として認定し、広報なんと等で取り組み内容を紹介します。
- 特に子育て家庭の親の雇用や子育て支援に熱心に取り組んでいる企業を表彰し、社会全体で子どもと子育てを応援する意識の醸成を図ります。
- ご協力いただいた事業者様には調査結果を送付します。
- 提供いただいた情報は事業目的以外には使用しません。
- 調査は毎年度行います。

**認定要件に該当しない場合(※2)であっても、
現状把握のため回答にご協力ください。**

要件	認定 : A~Eの5項目中3項目以上に○が1つ以上あり、かつ40点中20点以上であること 中小企業(従業員300人以下の企業)は加算点あり(令和2年度より)
-----------	--

企業・事業所名				
代表者名				
住所		〒 -		
職種		下記の中から当てはまる番号をご記入ください () 1.農業 2.建設 3.製造 4.電気・ガス 5.情報通信 6.運輸 7.卸売・小売 8.金融・保険 9.不動産 10.飲食・宿泊 11.医療・福祉 12.教育 13.サービス 14.その他()		
担当者連絡先	職氏名	メールアドレス		
	電話			
従業員数 (R2.4時点)		市内事業所	人	(内女性 人)
		企業全体	人	(内女性 人)
従業員について、該当するものについて○をしてください。		子育て家庭の親がいる。		
		子育て家庭の親はいないが、今後雇用の予定がある。		
		子育て家庭の親がない。		
備考				

※1 高校生までのお子さんを養育している親または養育者

※2 子育て家庭の親を雇用されていない場合など

A～Eまでの項目のうち、太枠内についてご記入ください。
 取り組み内容の詳細については「取り組み内容」欄にご記入ください。

A 子育て家庭の親への支援の充実		チェック (○印を付けてください)	※点数	※中小企業加算
1	法定を超える育児休業制度がある(※1)		2	1
2	女性(正社員)の育児休業取得者の割合(過去3年:平成29年度～令和元年度)が90%以上である		1	1 ※左記の1つ以上に該当する場合
3	これまでに男性(正社員)の育児休暇取得実績がある 過去3年(平成29～令和元年度)の実績 _____人		1	
4	これまでに有期契約労働者(※2)の育児休業取得者がいる 過去3年(平成29～令和元年度)の実績 男性: _____人、女性: _____人		1	
5	ひとり親家庭の親を雇用している 正 規: _____人 有期契約労働者: _____人		1	
6	ひとり親家庭の親を雇用し、「特定求職者雇用開発助成金」(※3)制度等を利用したことがある (トライアル雇用奨励金なども含みます)		1	
7	会社や企業内共済会等から従業員への経済的支援がある	<input type="checkbox"/> 育児休業中の従業員の所得補償 <input type="checkbox"/> 育児に要する費用の助成 <input type="checkbox"/> 出産祝金	1 1 1	
8	経営者・管理職がイクボス宣言をした又は今年度中にする予定である(別紙参照) イクボス宣言をした場合、宣言した年度 _____年度		2	-
取り組み内容			(小計) /12	(小計) /2

※1 法律では1歳まで、両親ともに育児休業を取得する場合は1歳2カ月まで、または、一定の事情がある場合は2歳までとされています。一定の事情の有無に関わらず、2歳まで育児休業をとることができる場合は○印を付けてください。
 ※2 契約社員、パート社員、派遣社員を含みます。
 ※3 特定求職者雇用開発助成金:ひとり親家庭の親をハローワーク等の紹介により継続して雇用する労働者として雇い入れる事業主に対して助成金を支給するもの。

B 柔軟な勤務が可能		チェック (○印を付けてください)	※点数	※中小企業加算
1	事業所内保育施設を設置・運営している (規模、設置時期、利用人数等を「取り組み内容」欄に記入してください)		1	1
2	子育て中に柔軟な働き方ができる法定を超える制度等があり、利用できる	<input type="checkbox"/> 育児短時間勤務制度(※1) <input type="checkbox"/> 時差出勤制度 <input type="checkbox"/> テレワーク <input type="checkbox"/> 期間限定パート雇用 <input type="checkbox"/> 子の看護休暇(※2)	2 1 1 1 2	1 ※左記の1つ以上に該当する場合
3	出産・育児を機に退職した従業員の再雇用をすることができる (実績があれば過去3年(平成29～令和元年度)の人数 _____人)		1	
4	学校の休業日など、家が留守になるときに子どもを勤務先に連れて行くことができる		2	-

5	学校帰りの子どもを職場で待たせることができる		1	-
6	その他 子育てにやさしい取り組みを行っている	下記に具体的な取り組み内容を記入してください。	1	-
取り組み内容			(小計)	(小計)
			/13	/2

※1 法律では、短時間勤務制度は原則として3歳に満たない子を養育する労働者に対して1日の労働時間を6時間(5時間45分から6時間まで)とする措置を含むものとなっているので、それ以外の短時間勤務制度の実施がある場合は○印を付けてください。

※2 法律では、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する労働者は1年に5日(子が2人以上の場合は10日)まで1日又は半日(所定労働時間の1/2)単位休暇の取得が可能となっているので、それ以外の子の看護休暇がある場合は○印を付けてください。

C 業務時間管理 (ワーク・ライフ・バランス)		チェック (○印を付けてください)	※点数	※中小企業加算
1	残業削減の取り組みを行っている (残業の事前申請、ノー残業デー、業務時間に応じた営業日時の設定、時間管理が評価される人事評価制度、IT環境の改善、特定の部署や従業員に業務が偏らないような取り組み ほか)		2	-
2	年休取得のための取り組みを行っている (休暇計画表の利用、連続休暇の取得促進など)		1	-
3	自己啓発、ボランティア等のための休暇制度がある		1	-
4	ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発や情報提供を積極的に行っている (プロジェクトチームの設置、従業員向けの研修会の開催や印刷物の配布など意識改革への取り組み)		1	1
取り組み内容			(小計)	(小計)
			/5	/1

D 子どもと一緒に利用できるサービスや設備の提供		チェック (○印を付けてください)	※点数	※中小企業加算
1	子ども連れや妊娠中の人でも利用しやすい設備やサービスを整えている		1	-
2	子どもや子育て中の家庭を対象にした割引やプレゼントの特典がある		1	-
3	キッズスペースを設置する等、子どもが楽しく過ごせる工夫をしている		1	-
4	子どもや子育て中の人に参加できるイベントや講座を開催している		1	-
取り組み内容			(小計)	(小計)
			/4	/0

E キャリアアップの機会		チェック (○印を付けてください)	※点数	※中小企業加算
1	パート等(※1)から正社員への登用することができる (実績があれば過去3年(平成29~令和元年度)の人数 _____人)		1	-
2	育休中の従業員に対し、情報提供や職場復帰の訓練等を行っている		1	-
3	管理職も含め従業員に対し両立支援に関する研修を行っている		2	-
4	従業員へのアンケートやヒアリングなどを行っている		1	-
5	資格取得のための研修等学習機会を与えている		1	-
取り 組み 内容			(小計) /6	(小計) /0

※1 正社員以外全て(非正規雇用)

その他 意見を自由に記入してください。

◎子育て家庭の親が働きやすいよう独自で工夫していることがあれば記入してください。

◎子育て家庭の親の雇用について、自由に記入してください。